



脊髄小脳変性症（SCD）の短期集中リハビリテーション入院について

1) 目的

脊髄小脳変性症（SCD）患者に短期集中リハビリテーション介入を行うことで、患者の動作能力向上を図り、また継続的に自主練習を行うことで日中活動の拡大を図り、長期的なリハビリテーション効果の持続を目指すこと

2) 対象者

歩行が可能な、失調症状主体の SCD 患者

3) 入院スケジュール

①入院期間：2～4週間程度

* 4週間の入院が難しい方に、2週間のプログラムも用意しました

②内容

- ・筋力増強運動（下肢・体幹）、バランス練習
- ・応用動作練習（家事など）
- ・発声練習
- ・自主練習指導



（上図の数十ページのパフレットから患者個別に適した内容を選択し指導）

③リハビリテーション頻度

理学療法 ： 1時間/日×5回/週

作業療法 or 言語療法 ： 40分/日×5回/週

興味がある方は、リハビリテーション科 または 主治医 へお問合せ下さい！！